

中央情報通信

発行日 毎月15日

大日本生産党機関紙

第1392号 令和4年8月15日

8 月 号

中共のスパイ拠点・孔子学院の現況と今後……………本紙編集部…………	1
新しい人権政策を試みているイギリス……………	2
北朝鮮元スパイの元締めが証言した事実……………	3
マスコミによる統一教会集団いじめ……………	4
読者投稿 昭和は遠くなりにはけり……………	5

本 社 〒847-0871 佐賀県唐津市東大島町 19-5
電話 090-3199-8446 no.shin.7771008@gmail.com
賛助購読料 年額 3,000円 (年10回発行)
ホームページ <http://大日本生産党.com/>

発 行 所
中 央 情 報 通 信 社
編集長/谷田 透

9月は発行をお休み致します

中共のスパイ拠点・孔子学院の現況と今後

本紙編集部

六月に兵庫医科大学（兵庫県西宮市）に在った「孔子学院」が閉鎖されたが、当初の目的だった東洋医学の研究が進んでいないことを大学側が理由にしたようだ。

二〇〇四年から中国語や中国文化を教えるために講師を派遣し、相互に留学生を受け入れることなどを謳って開設された孔子学院だが、最盛期の一六〇箇国、五五〇校という規模は、アメリカのトランプ政権が「中国人スパイ養成学校」と断定して糾弾してから一気に縮小した。わが国でも十五大に開設され、今回の兵庫医大の閉鎖は東京の工學院大学に次いで二校目になるが、その他は閉鎖の予定はないらしい。

我が国に在る孔子学院は、
立命館孔子学院（京都）
桜美林大学孔子学院（東京都）
北陸大学孔子学院（石川県）
愛知大学孔子学院（愛知県）
札幌大学孔子学院（東京都）
立命館アジア太平洋大学孔子学院（大分県）
大阪産業大学孔子学院（大阪府）
岡山商科大学孔子学院（岡山県）
早稲田大学孔子学院（東京都）
工學院大学孔子学院（東京都／閉鎖）
福山大学孔子学院（広島県）
関西外国語大学孔子学院（大阪府）
兵庫医科大学中医薬孔子学院（兵庫県／閉鎖）
武蔵野大学孔子学院（東京都）
山梨学院大学孔子学院（山梨県）
である。文科科学省は発表している。文科省によると、これら孔子学院は日本の大学の中に設置されているながら、中国共産党が事実上支配し、日本政府側には所管する部署も存在せず、認可届を受け付けた覚えも無いとのことである。実際は中共の



兵庫医大の交換留学生プログラム

宣伝工作に騙された理事会など経営サイドが、少子化で経営に行き詰っていた大学に「中共が補助金を出すから」と言われて甘い汁を吸わされ、逃げられなくなったただけのようだ。

これらの大学を糾弾するのは容易だが、文科省が正当な研究費を出さないことも原因の一つだと知っておくべきだ。スパイ養成学校と陰口を叩かれるうちは良いのだが、いよいよ文科省を当てに出来ないと考えたとき、積極的に日本を裏切って中共に走る大学が出てくるかもしれないのだ。

この孔子学院はトランプ政権時代、全米で一八箇所あったうち一〇四箇所が一気に閉鎖させられた。ところが七月に全米学識者会（NAS）が発表した所では、閉鎖した孔子学院は名称やシステムを変更して運営されているようなのだ。

中共政府は「孔子学院はアメリカの高等教育内で中国の最も重要な戦略的拠点であり、今後は影響力を及ぼす別の手段に移る」としている。どうやら姉妹都市提携を

している所で、交換留学生プログラムに組み込むつもりのようなのだ。

報告書では、全米二十八大学の孔子学院は名称を変えて再開され、五十八大学の孔子学院は事実上は水面下で存続している。五大学の孔子学院はスタッフが他の組織にそのまま移行したという。

中共側でも、今までは「孔子学院総部」（漢弁）だった管理部門の名称が、「教育省中国語・外国語交流センター」と変更され、「中国国際教育財団」を設立して孔子学院の資金拠点を進めている。スタンフォード大学など十七の大学の孔子学院は、今まで以上に活発に活動しているという。

トランプ政権時代のポンペオ国務長官は「孔子学院は中国共産党の世界的な影響力、プロパガンダ部門」と断定してFBIに捜査を命じていたが、バイデン政権に代わってからは驚くほど孔子学院への圧力は軽減されている。優遇の質が変えられたと言っても良いかもしれない。中共政府から資金提供を受けているアメリカの教育機関が、中共の軍民共同プログラムに「学術研究」の名目で参加している噂もあり、日本でも同じような危険性が排除されているのかどうか疑わしい。

トランプ政権は「アメリカ・ファースト」と唱えて友好国の眉をひそめさせたが、バイデン政権は「アメリカ・セカンド」と叫んで国内で響きを買っているようだ。「再生可能エネルギーは完全移行する」と言っているが、電力不足は致命的なラインに至っている。ガソリン高騰、電気代高騰、石炭事業・LNG事業の縮小命令：もし今年中に石

炭火力発電所を閉鎖するなら一二・六ギガワット分の電力が不足することになる。バイデン大統領が「チャイナ・ファースト、アメリカ・セカンド」と悪ふざけを言っている間に全米の国民生活は中国以下になるだろう。

我が国の岸田政権も、中国共産党や解放军と中国人留学生は違うなどと強弁している間に、気が付けば中共のソフトパワー戦略と賄賂によって「大中華帝国の臣下」と名乗らねばなくなるかもしれない。気を引き



事件直後、立命館孔子学院で張り出されていたチラシ。

締めて正邪善悪の区別を判断できないように心がけ、今後は嚴重に政府を監視してゆかねばならない。

新しい人権政策を試みているイギリス

二〇〇五年にオーストラリアは不法移民の多さに激怒し、南太平洋の島嶼国家ナウルにODAを渡して、刑務所や教育センターを運営させていた。約一万二千人ほどだが、オーストラリアから強制的に送られた不法移民たちは、管理が悪くて数%が死んだそう。

それを教訓にして、今般イギリス議会は「不法移民はアフリカのルワンダに強制移送する」という法律を決めるそう。ルワンダ政府にODAを渡して近代的な刑務所を作らせ、五年間限度で囚人教育を行なうことになっている。五年経てば、囚人の希望でルワンダに永住するか生まれた国に帰るかを決めさせるらしいが、生まれた国に帰る金など持っている



はずがない。内戦・虐殺で人口の減ったルワンダに、合法的に新国民を作り出す政策だ。

ルワンダは内戦で虐殺の嵐が吹き荒れた国であり、フツ族とツチ族が殺し合いを経験している。フランスの支配が緩んだ時に内戦が起きたが、イギリスは学習する国なので歴史もオーストラリアの件も学習して、「人権問題」にならないようにだけ注意すれば、後は金さえ出してあげれば現地で何とかすることを知っている。

フランスの不法移民取り締まりが緩いので、アフリカや中東から「イギリスを目指す移民」がドーバー海峡に近い町に隠れ住むそう。イギリスは水際で不法移民を捕まえるが、フランスは知らぬ

顔で「人権」を唱えるという。イギリス政府はさぞ頭に来ることだろう。特に、クルド人がイギリスに入り込んで、クルディスタン独立運動を起こすことに神経質だ。トルコとは喧嘩したくないイギリスの事情もあるが、「人権」と言えば何でも済むと思っ

北朝鮮元スパイの元締めが証言した事実

北朝鮮で金正日配下でスパイの元締めをしていた**金グクソン**（写真）が今年六月、世界日報ソウル支局の独占インタビューを受けた。北朝鮮から韓国に政治亡命したスパイ幹部の中では最高位の人物とされ、世界中のメディアがインタビューを申し入れていた。

金グクソンは朝鮮労働党対外連絡部や作戦部、偵察総局や情報調査部などのスパイ部門を全て幹部として経験した人物で、金正日に日本人拉致を小泉首相に謝罪させた張本人でもある。小泉政権に国際レベルの外交能力があると過信した結果、資金援助の約束の証文代わりに帰国させた拉致被害者五人が、逆に日本側に拉致されて「密約」が破談したことなどが原因で、金正恩時代になると一気に冷や飯を喰わされることになった。最も信頼していた外交トップの張成沢が裏切者として銃殺され、次は自分だろうと恐ろしくなって韓国に政治亡命したものだ。



その金グクソンがインタビュに驚きの事実を暴露しているが、他の日本メディアは無視を決め込んで裏取りもしようとしていない。聞かなかったことにしよう、知らなかつたことにしようという態度が見えええであり、日本メディアの情報に頼っている世論の脆弱さが露呈した形だ。

拉致された日本人は何処にいますかと問われて、全員が特別待遇でかなり高級な生活

しているフランスが憎まれ者だ。

今年になってからドーバー海峡を渡ってきた不法移民は二万人以上。どうにか早く片付けたいイギリスは、国連人権理事会や国際アムネスティなどの妨害を跳ねのけて実行に移せるか、世界中が注目している。

をしており、「平壤市内の同一居住区に住んでいる」と答えている。ただ外出は党の車で移動させられ、一般人との交流は厳禁されているとのこと。また子供たちは偽名で高級な学校で教育を受けており、生まれた時から反日教育を受けているので、日本に帰りたいなどは考えもしないだろうと笑っている。親（拉致被害者）たちにしても、日本で生活していた時間よりも平壤での時間のほうが長くなり、郷愁はあっても日本に愛着も愛国心もあり得ないだろうとのことだ。

日本人拉致は、究極の目的である「南朝鮮解放」のために、日本語教育や風習教育の先生役として拉致し、それら被害者の戸籍はスパイが乗っ取って韓国工作に従事していたそう。党の方針が変わってからは、日本人は必要なくなったので拉致工作は終了したのだが、それまでに拉致した日本人は平壤の隔離施設で「訪問客」として丁寧な暮らしが約束されていた。横田めぐみさんについては、詳しく言えないが日本人全員がびっくりするような話があると、思わせぶりに笑った。

「洪水で日本人墓地が流された」「拉致被害者は全員死亡した」などの嘘は北朝鮮当局の普通の外交対話に過ぎず、我が国外務省や小泉政権がその程度のブラフに真剣に噛みつくなどとは思っても寄らなかつたそう。もっと成熟した外交交渉が出来ると思誤って、日本を過大評価したのが金正日の

大失敗で、それが原因となって国内でも党内でも信頼が急落したと憤っている。

安倍政権も岸田政権も、拉致問題は最大の外交課題だと言っているが、北朝鮮は経済優先ではなく政治優先の国家体制なので、金王朝の存続と発展をまず優先してから政治交渉をしなければ話は一步も前に進まないということは、日本の外務省でも理解できていることらしいが、関係正常化に不可欠な問題なのに、解決する気は日本側

に無いようだという。

金正日と呉克烈（作戦部長）に大恥をかかせ、秘密交渉の証文（拉致被害者五人）を預けたのに踏みにじって約束を破ったのは「日本の小泉と安倍である」と激怒し続けていることも日本人は知らない。

北朝鮮は国家として、もう一度日本に一步譲って「恥」をかくようなことはしないだろう。厳しいがこれからは、一般的な外交交渉と国家総合力の戦いである。

マスコミによる統一教会集団いじめ

いまマスコミは総力を挙げて統一教会をいじめている。政治家との交際や関係を、さも悪を助長しているかのように取り上げている。まるで、統一教会は「反社会勢力である」と烙印したいのか…と見まがうほどだ。

実はこの背景にウクライナ戦争があることに、薄々世論は気づいていることだろう。日本のマスコミ程度能力では、ウクライナを現地取材することも出来ず、前大統領と中共の密約に端を発するのがロシアとの紛争のきっかけで、そこからウクライナで革命的な政治改革が行なわれ、ゼレンスキー派が国家を掌握した事実をマスコミは取り上げることが出来ない（本紙七月号既報）。



て面白く、材料もたっぷりある。偉そうな政治家をいじめる快感を味わってしまうと、普通のいじめ取材では物足りないと感じるようになってくる。

統一教会側には、三男の文頭進を後継者に決めていたのにクーデターで担がれて失脚させた過去があり、クーデター事件が再燃する危険性を今も抱えているという危ない事情がある。自民党側には、岸信介の満州時代の兄弟分だった朴正熙の存在がクローズアップされるのは喜ばしくない事情がある。日米安保の時に、ソ連や中共に扇動されていた左翼運動が猛烈な反対運動を繰り返し、世論を「反左翼」「過激派撲滅」に向けねばならなくなった時、岸信介は朴正熙に相談し、朴の弟分であつた文鮮明を派遣してもらい「勝共運動」を創出し、アメリカの了解と援助を受けて国家的な流れを作った過去がある。その時から、統一教会は自民党のみならず、日米安保を裏から支えた勢力として圧倒的な存在感を確立したのである。

アメリカのバイデン政権もE.Uも「反ロシア」に舵を切り、ウクライナのここ十年間ほどの歴史は見なかったことにしているのだ。我が国政府も同調しており、西側諸国のマスコミ連合も同調している。異端となつて、ウクライナ戦争に至る事実を踏査しても利益は無いのである。

そのような我が国マスコミの閉塞感を打破するきっかけに、統一教会と自民党との結託や日韓共同の反共運動などはネタとし

もし今、日本のマスコミが統一教会いじめを深掘しすぎれば、日・米・韓の当時の歴史の裏側を暴露しなければならなくなる。すると、マスコミは猛烈な三国からの

圧力を受け、無事では済まなくなる。これは当事者のマスコミ側もわかっており、深掘しすぎるなという暗黙の指示が出ていることだろう。そこで姑息にも、統一教会と親しい政治家を暴露して集団いじめすることとで、国民世論の目がウクライナ戦争の真実から遠ざかれば良いのである。

「統一教会を反社会勢力として公安委員会は指定せよ」と叫ぶマスコミ及び市民運動が出てくれば、それらは統一教会のクーデター再燃を願っている勢力と関係してい

ると見たほうが良いかもしれない。何しろ統一教会は国際的組織であり、財産も政治力も桁が違う。韓国に於いては財閥の一角であり、国連本部にも部屋を持っている存在だ。クーデターが再燃するようになれば、関与していると莫大な利権が見込めると考えても不思議はないだろう。日本人の感性からすれば、マスコミの「統一教会集団いじめ」は快く映らない。裏の裏を考えてみたいものだ。

読者投稿

昭和は遠くなりにけり…

最近では昭和時代の話題が若者に受けるようだ。月光仮面は二十八歳なのに「おじさん」と呼ばれていたり、悪の組織の女性は五十歳なのに「婆さん」と呼ばれていたことは、皆一様に驚く。当時は白黒テレビだったのに、ブラッシーに噛みつかれた力道山の額から流れる血は赤く見えていたと年寄りと言う。平成生まれには理解しがたい昭和時代の話題は、時間の経過だけでなく自然環境が変化していることも理由の一つにあるようだ。



道南部は梅雨入りするようになり、本州ではアブラゼミが地中の温度上昇で全滅に近づいた。二十四節気是时候の催し物が適応していた昭和は、戻ることのない過去に消えてしまった。自然環境が変わったからこそ、日本人の価値観や生活様式も変わってきたのだろう。すべては連動して動いている。それなのに、宗教的・思想的な様式は昭和のままが良いのかどうか。万古普通の真実などあるとも思えないし、永遠とか絶対と言うのも疑わしい。それが令和である。

令和という新時代を、日本人は何を「標準」として生きてゆくべきか。標準的な価値観を模索する努力を、宗教家や思想家がやっているのだろうか？ 昭和の価値観を墨守することこそ尊いと錯覚あるいは自己肯定しているのではないだろうか。

昭和時代の何が残すべきもので、何が改めるべきものなのかを、維新という古典的な考え方でやっている人はどれほどいるのか？ 昭和という時代は、もう戻ってこない昔なのである。

残暑お見舞い申し上げます

大日本生産党